

2022年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

- ・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
 B : よい
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

保育所・こども園名【松江認定こども園】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	/	B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	/	B
評価の根拠 保育理念、保育方針・保育目標を自己目標の具体的行動に落とし込んで自己目標達成に向けて取り組んでいる		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	C	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	B	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	C	B
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	B	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	B	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	C	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	B	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	C	B
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	C	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	C	B
評価の根拠 コロナ禍ではあるがその中で子ども達の安全を第一に考えつつ話し合いを重ね、楽しめるよう日々の生活、あそびを工夫し改善に取り組んでいる。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	B	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	B	B
評価の根拠 日々の健康観察と保護者との適切に情報を共有することで、早めの対応が出来る。また、日々の除菌等衛生的な環境を維持している。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	C	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	C	B
評価の根拠 コロナ感染の状況を見つつ中止していた行事の復活や新たな行事を計画段階からリスクマネジメントして安全でねらいが生かせるものとしている。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B	B
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	B	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	C	B
評価の根拠 管理栄養士が中心となり食育に取り組み旬の食材を使った献立や食育の日にクイズや体験などを通して子どもたちの食べる意欲や食への関心に繋げている。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	C	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	C	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	C	B
評価の根拠 職員の役割や責任に対する意識が向上し迅速な対応ができてきた、会議でも主体的に考えた意見がでてくる。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	B	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	C	B
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	C	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	B	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	B	A
評価の根拠 指導計画、マニュアルに基づいて訓練を実施し、都度振り返り安全行動ができるようにしている。		
8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	C	B
② 研修報告を園内で実施している	B	B
評価の根拠 キャリアアップ研修等は計画的に受講している。また、研修報告は回覧と職員会議で共有し理解を深めている		
9. 情報について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	B	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	B	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	C	B
評価の根拠 個人情報の管理・守秘義務においては適切にできている。各表簿の作成・処理は適切な時間でできるように努めている。		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	B	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	B	B
評価の根拠 安全点検は一人一人が責任を持って確実な確認を実施している。		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	B	B
② クラス懇談や個別懇談を行っている	C	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	B	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	C	B
評価の根拠 コロナ禍であるが密を避けできるだけ手短にお伝えし、またコドモンでの発信を行い情報を共有している。コロナ感染状況を見ながら親子ふれあい活動を再開し園でのこどもの成長を感じてもらった。		
12. 開かれた保育所づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	D	C
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	C	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	B	B
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	B	B
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠 地域公民館祭りに参加したり、中学校等の実習性を受け入れている。保護者からの相談に必要により面談を実施している。		
13. 情報発信について		
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている	B	B
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	D	C
評価の根拠 毎月コドモンを利用して「えんだより」を掲載して園の情報を発信している。		
14. 人権擁護について		
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている		B
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている		B
評価の根拠 保育士同士が保育を振り返り、話し合える場を作り、日々の保育を職場全体で捉えている。		
15. 総括		
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をお書きください。		
<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をとおして、前年度よりも改善・充実した点 ・職員会議で保育理念や方針・目標を唱和し、また、各種会議等でありたい姿として方針・目標について話をして意識を高めている。 ・行事や地域の方々とのふれあいを状況を見ながら出来ることを計画リスクを検討したうえで安全に実施できた。 ・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点 ・食に関する事故を防ぎながら安全に「食育」や「食が伴う行事」をこどもたちに経験させるためにできることを検討する。 ・職員が更に安全に対する感度を高めながらこどもの成長に繋がる環境や保育を実践する。 		